



取扱説明書

ワイヤレスチューナ

WT-750B



(800MHz帯シングルチューナ)

このたびは、TOAワイヤレスチューナWT-750Bをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA株式会社

目次

使用上のご注意	2
各部の名称と働き	3
ワイヤレスチューナユニット WTU-1710 の組みかた	4
操作のしかた	5
グループ、チャンネル番号の設定のしかた	5
接続例	6
入力および出力を平衡型にするとき	7
アンテナ設置工事について	8
ラックに取付けるとき	9
800MHz帯ワイヤレスマイクロホンのチャンネル、周波数について	10
アフターサービスについて	10
仕 様	11
ブロックダイアグラム図	12

使用上のご注意

- ご使用いただく電源はAC100Vです。
- 受信アンテナの設置については、この取扱説明書をよくお読みください。
- パワーアンプの上など高温になる所に設置しないでください。またラックに取付けるときは、できるだけ温度の高くならない場所に設置してください。
- ケース外部の汚れ清掃には乾いた布等を使用し、ベンジン、シンナー等は絶対に使用しないでください。
- ケースを開けて内部に触れたり、金属物などを入れると感電事故や、故障の原因になりますので絶対にしないでください。
- ワイヤレスマイクと受信アンテナは3m以上離してご使用ください。

各部の名称と働き

前面パネル

ワイヤレスチューナユニット組込部

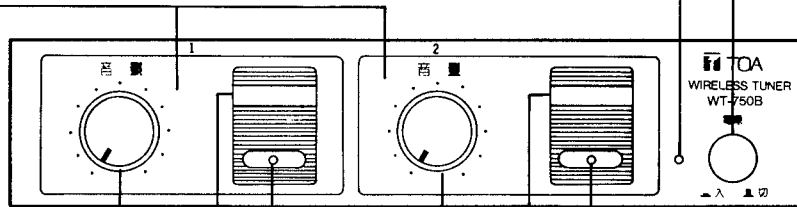
ワイヤレスチューナユニットWTU-1710を組込みます。
詳しくは、4ページの『ワイヤレスチューナユニットWTU-1710の組込みかた』をご覧ください。
(WTU750シリーズもご使用になれます。)

電源表示灯

電源が入ると点灯します。

電源スイッチ

(●)の位置で電源が入り、(■)の位置で電源が切れます。



音量調節つまみ

ワイヤレスマイクの音量を調節します。

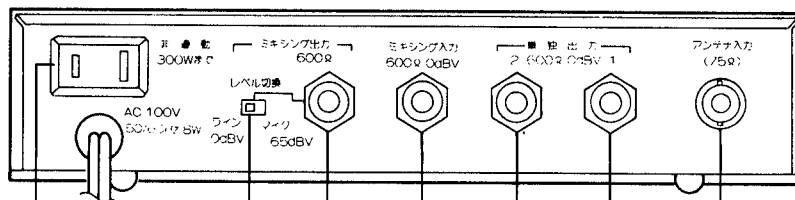
受信表示灯

ワイヤレスマイクの電波を受信すると点灯します。

カラーマーク貼付位置

ワイヤレスチューナユニットWTU-1710に付属のカラーマークを貼ります。

後面パネル



ACアウトレット

電源スイッチの入・切に関係なく、消費電力が300Wまでの機器を接続して使用できます。

ミキシング出力レベル切換スイッチ

ミキシング出力レベルを切換えます。

マイク側 -65dBV

ライン側 0dBV

ミキシング出力端子

出カインピーダンス600Ω 不平衡

チューナ1、2及びミキシング入力の出力がミキシングされてます。

-65dBV… 接続機器のマイク入力端子へ

0dBV… 接続機器のライン(AUX)入力端子へ
ワイヤレスチューナを増設するときにも使用します。

アンテナ入力コネクタ (BNCジャック) 75Ω

●別売 ワイヤレスアンテナを接続します。

●アンテナにDC電源を供給します。

(DC8V 最大35mA)

単独出力端子

0dBV 出カインピーダンス600Ω 不平衡
組込んだワイヤレスチューナ1、2の出力がそれぞれ単独に取出せます。

ミキシング入力端子

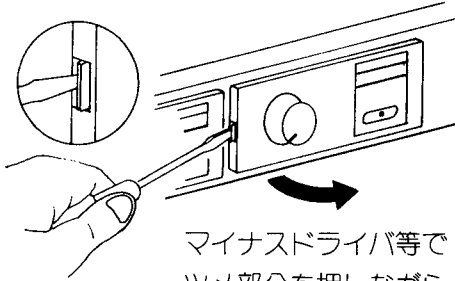
0dBV 入カインピーダンス600Ω 不平衡
ワイヤレスチューナを増設するときにも使用します。

■ワイヤレスチューナユニットWTU-1710の組み込みかた

ご注意

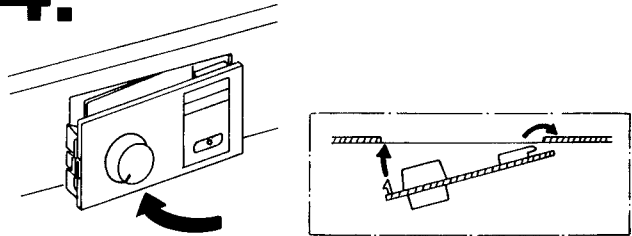
ワイヤレスチューナユニットの組み込みはチューナ本体の電源を切ってから行ってください。

1.



マイナスドライバ等でツメ部分を押しながら手前に引出します。

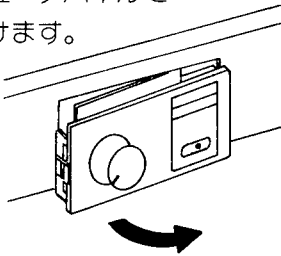
4.



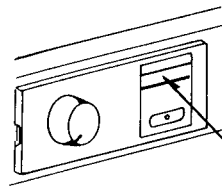
チューナパネルのコンネクタがしっかりと接続されていることを確かめてからチューナパネルをはめます。

2.

チューナパネルを開けます。

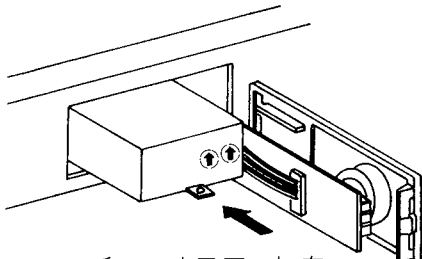


5.



チューナユニットに付属のカラーマークを貼付けます。

3.

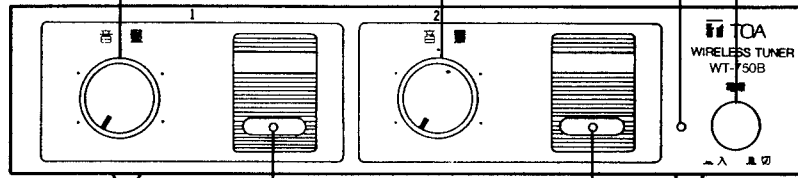


チューナユニットを挿入します。

WTU-1710には6色のカラーマークを付属しています。ワイヤレスマイクとチューナユニットのグループおよびチャンネルを同じに設定し、1色を決めて、ワイヤレスチューナに貼り付けます。また、ワイヤレスマイクにも同色のカラーマーク（マイクに付属）を貼り付けます。

■ 操作のしかた

- ③ 受信表示灯が点灯したほうの音量調節つまみで好みの音量に調節します。音量調節目盛の7目盛以上につまみを合わせますと、ワイヤレスマイクを非常に大きな声で使ったとき音がひずむことがあります。



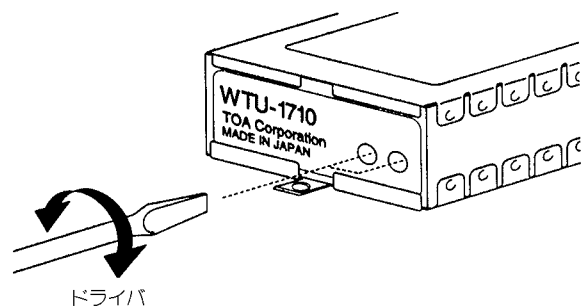
- ② ワイヤレスマイクの電源スイッチを入れます。同じ周波数のワイヤレスチューナユニットが組込まれているほうの受信表示灯が点灯します。

■ グループ、チャンネル番号の設定のしかた

ご注意

- ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナは同じグループ、チャンネル番号に設定してください。
- 同一場所で同時に使う場合には、グループは全て同じ番号に、チャンネルは全て異なる番号に設定してください。
- お買い上げ時にはB11（グループ1、チャンネル1）に設定されています。

1. チューナユニット正面のグループ番号設定スイッチの矢印を、設定したいグループ番号に付属のドライバで合わせます。
2. 次にチャンネル番号設定スイッチの矢印を、設定したいチャンネル番号に付属のドライバで合わせます。



ご注意

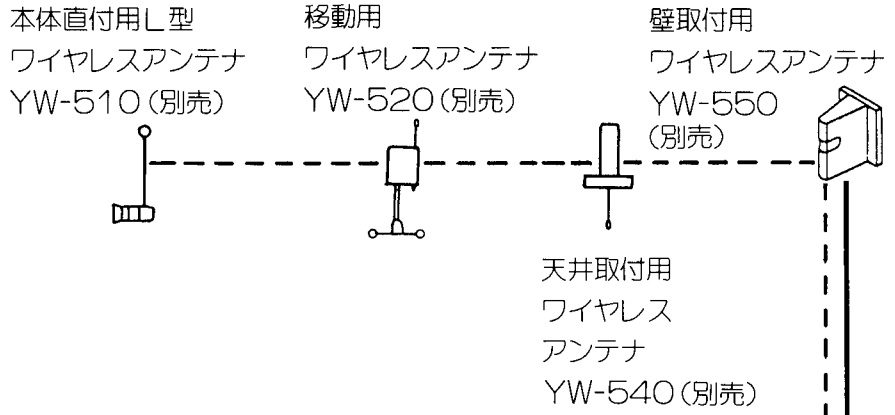
- 受信周波数一覧表にないグループ、チャンネル番号に設定しても受信できません。受信周波数一覧表を見て設定しなおしてください。
- グループ1～4は同一グループとして最大6波使えますが、グループ5は5波、グループ6は1波のみ使えます。

● 受信周波数一覧表（下記以外の組み合わせではご使用できません。）

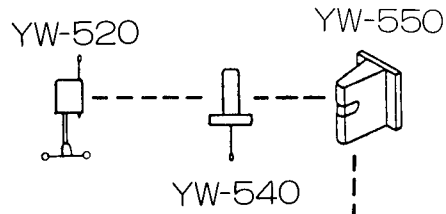
グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)	グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)	グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)
1	1	B11	806.125	3	1	B31	806.625	5	1	B51	807.625
	2	B12	806.375		2	B32	806.875		2	B52	808.125
	3	B13	807.125		3	B33	807.375		3	B53	808.375
	4	B14	807.750		4	B34	808.250		4	B54	808.750
	5	B15	809.000		5	B35	808.625		5	B55	809.625
	6	B16	809.500		6	B36	809.250	6	B61	807.250	
2	1	B21	806.250	4	1	B41	806.750				
	2	B22	806.500		2	B42	807.500				
	3	B23	807.000		3	B43	808.000				
	4	B24	807.875		4	B44	809.125				
	5	B25	808.500		5	B45	809.375				
	6	B26	808.875		6	B46	809.750				

※お買い上げ時にはB11（グループ1、チャンネル1）に設定されています。

■ 接続例



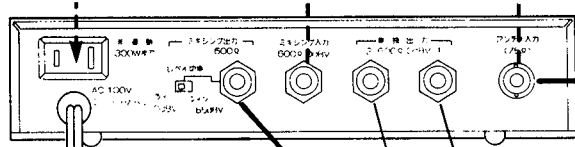
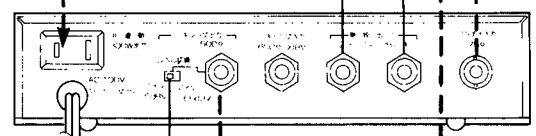
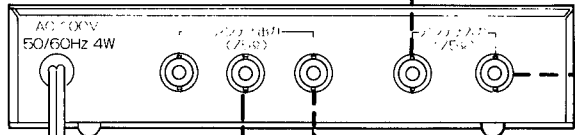
ワイヤレスチューナWT-750B
を増設するとき



接続する機器のライン(AUX)
入力端子へ (チューナ1の出力
が取出せます。)

接続する機器のライン(AUX)
入力端子へ (チューナ2の出力
が取出せます。)

ミキシングレベル
切換スイッチは
ライン側

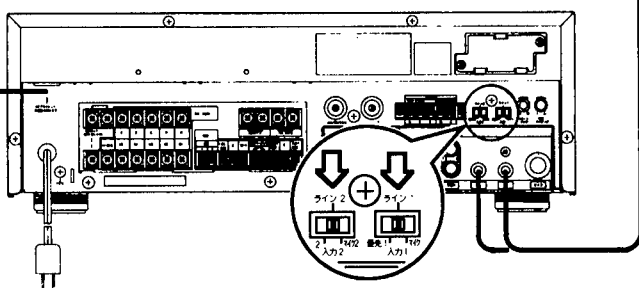


接続する機器のライン(AUX)入力端子へ
(チューナ1の出力が取出せます。)

接続する機器のライン(AUX)入力端子へ
(チューナ2の出力が取出せます。)

—— 本機のみ使用のとき
----- 増設するとき

システムPAアンプ後面



付属のホーンプラグ付
コード(1m)

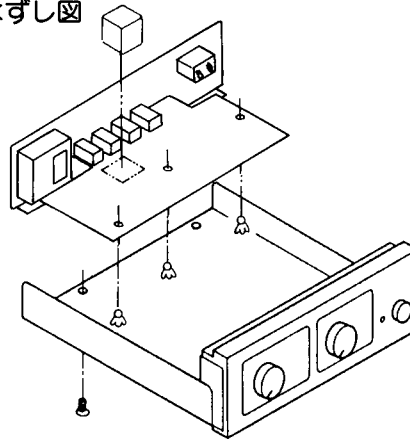
■入力および出力を平衡型にするとき(必ず販売店に依頼してください)■

- * 作業の前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- * 入力トランス IT-437 (別売) をご用意ください。

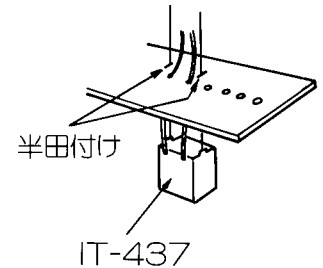
③ IT-437 を下図のように取付け、つめ及びリード線を半田付けします。取付け位置は下表を参照してください。

① 側面 4 か所のねじをはずして、ケースをとり、右図のように基板をシャーシからはずします。

基板取りはずし図



② 下表に従って、変更する出力(入力)に対応するジャンパ線を除去又は挿入し、半田付けします。



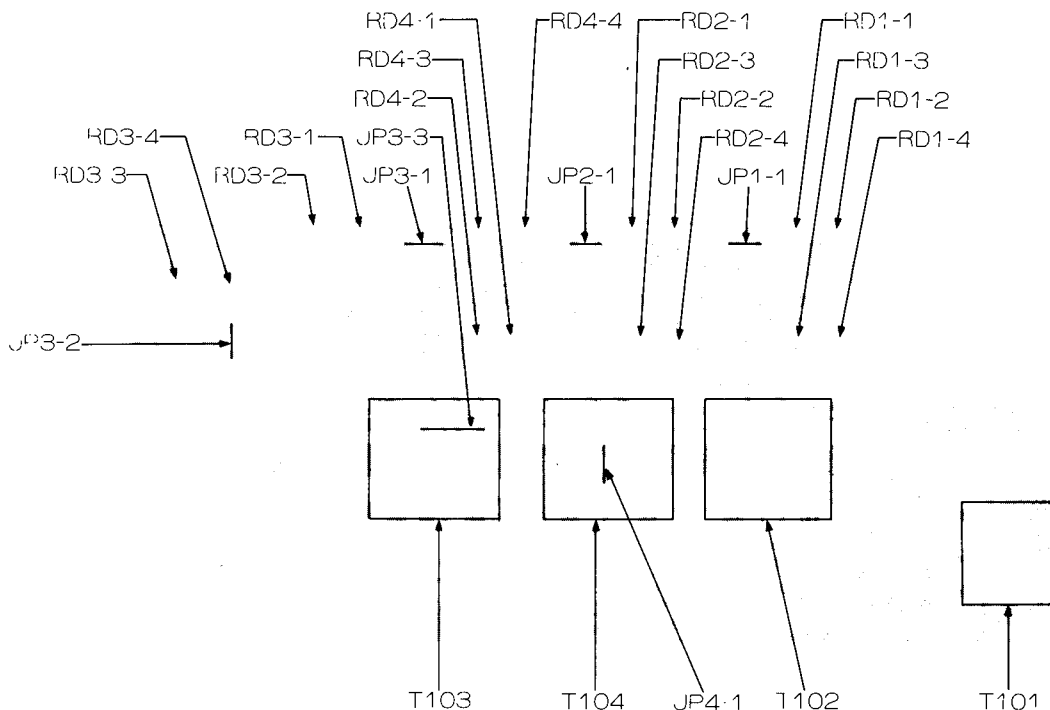
各入出力と基板のパターン面の表示との位置関係表

平衡型に変更する入出力	除去するジャンパ線	挿入し、半田付けするジャンパ線	IT-437を取付け半田付けする位置	IT-437のリード線を半田付けする位置			
				茶	橙	黄	青
単独出力 1	JP1-1 (JP111)	—	T101	RD1-1	RD1-2	RD1-3	RD1-4
2	JP2-1 (JP109)	—	T102	RD2-1	RD2-2	RD2-3	RD2-4
mix 出力	JP3-1 (JP104)	JP3-2 (JP102)	T103	RD3-1	RD3-2	RD3-3	RD3-4
mix 入力	JP3-3 (JP123)	—	T104	RD4-1	RD4-2	RD4-3	RD4-4
	JP4-1 (JP122)	—					

* 1) JP4-1 (JP122) は完全に取りはずしてください。

* 2) JP3-2 (JP102) は取りはずした JP3-1 又は、スズメッキ線等を使用してください。

●パターン面



■アンテナ設置工事について

- ワイヤレス組込機器、受信アンテナ、およびアンテナの接続ケーブルは、蛍光灯・デジタル機器（パソコン等）など高周波雑音を発生する機器からできるだけ離して設置してください。
- 受信アンテナは鉄骨、ロッカーなど金属物の近くを避け、壁面から30cm以上離してください。
- 1本の受信アンテナでワイヤレスマイクの電波を良好な状態で受信できる範囲は、周囲の条件にもよりますが、屋内では受信アンテナを中心に約20~30mの間です。受信アンテナを設置する場合、ワイヤレスマイクから受信アンテナまでの距離が30m以下になるよう受信アンテナを設置してください。（YW-510は15m以内で使用してください）
- 受信アンテナとワイヤレスマイクは3m以上離してご使用ください。
- 周波数が高くなると同軸ケーブルの高周波損失(ロス)は増加します。アンテナとチューナの接続ケーブルは必要以上長く伸ばさないでください。
- アンテナケーブルが長くなる場合には、アンテナブースタ YW-1000（別売）をご使用ください。アンテナブースタ YW-1000はアンテナケーブルの中間付近に接続されることをおすすめします。

ケーブル長の目安（ブースタ内蔵型アンテナ使用時）

	アンテナ単独使用時	YW-1000 使用時
7C-FB（低損失型）	20~70m	80~140m
5C-FB（低損失型）	10~50m	60~100m

●グループの異なるシステムを設置する場合

ワイヤレスマイクロホンと別グループの受信アンテナとの距離は、同じ階の場合20m以上、階が異なる場合10m以上離れるように設置してください。

詳しくは、9ページの「800MHz帯ワイヤレスマイクロホンのチャンネル、周波数について」をご覧ください。

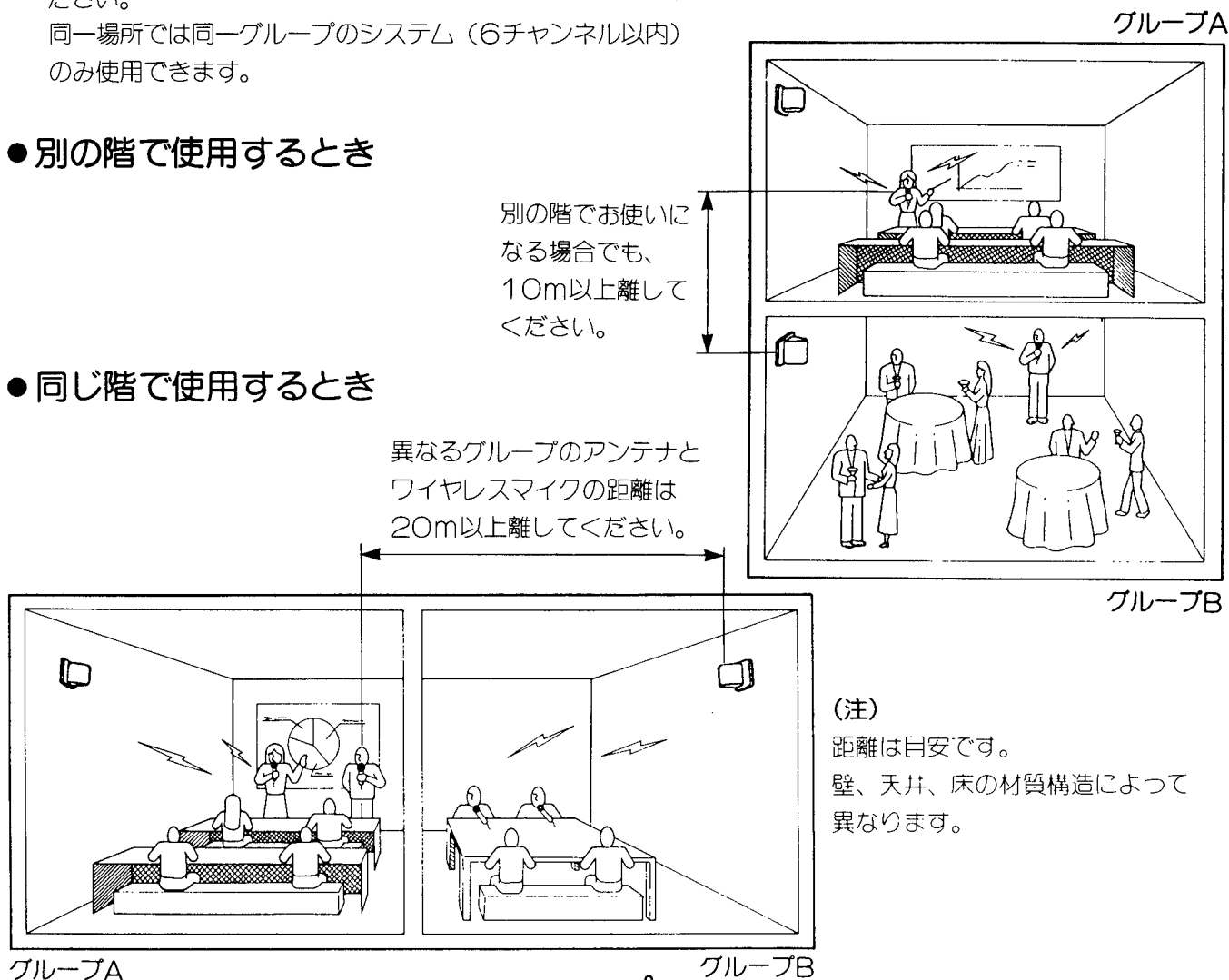
同一場所では同一グループのシステム（6チャンネル以内）のみ使用できます。

●別の階で使用するとき

別の階でお使いになる場合でも、10m以上離してください。

●同じ階で使用するとき

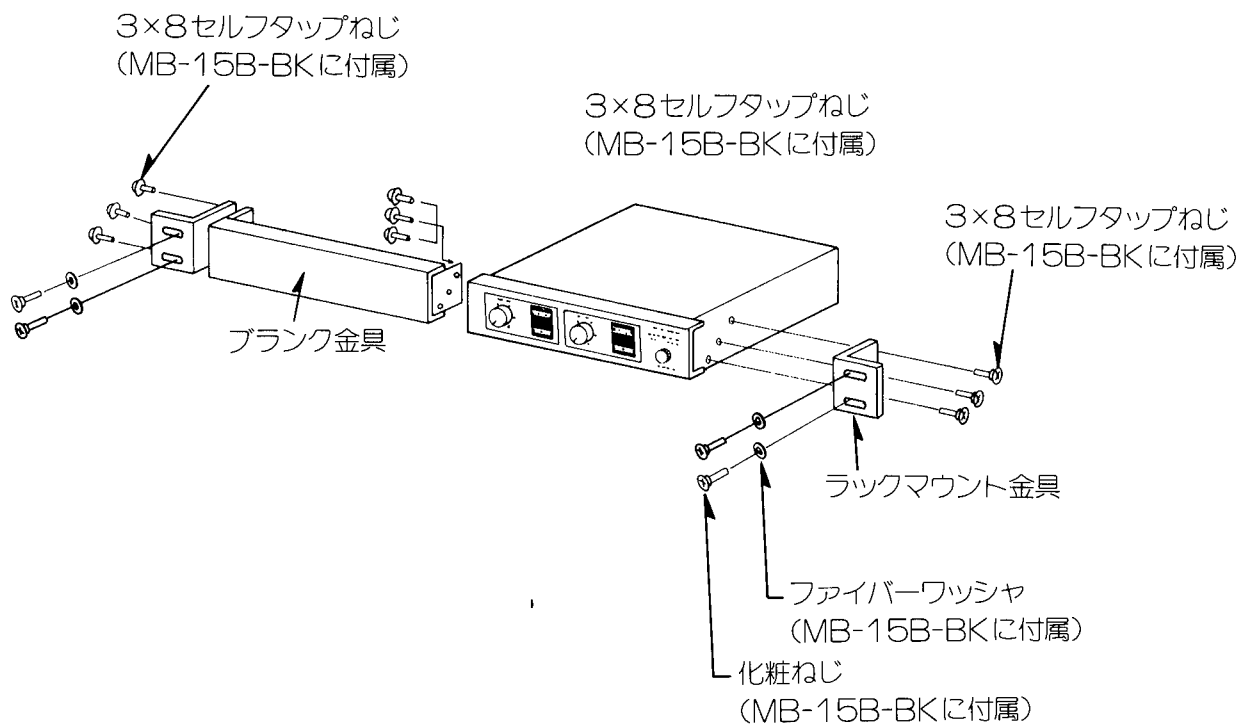
異なるグループのアンテナとワイヤレスマイクの距離は20m以上離してください。



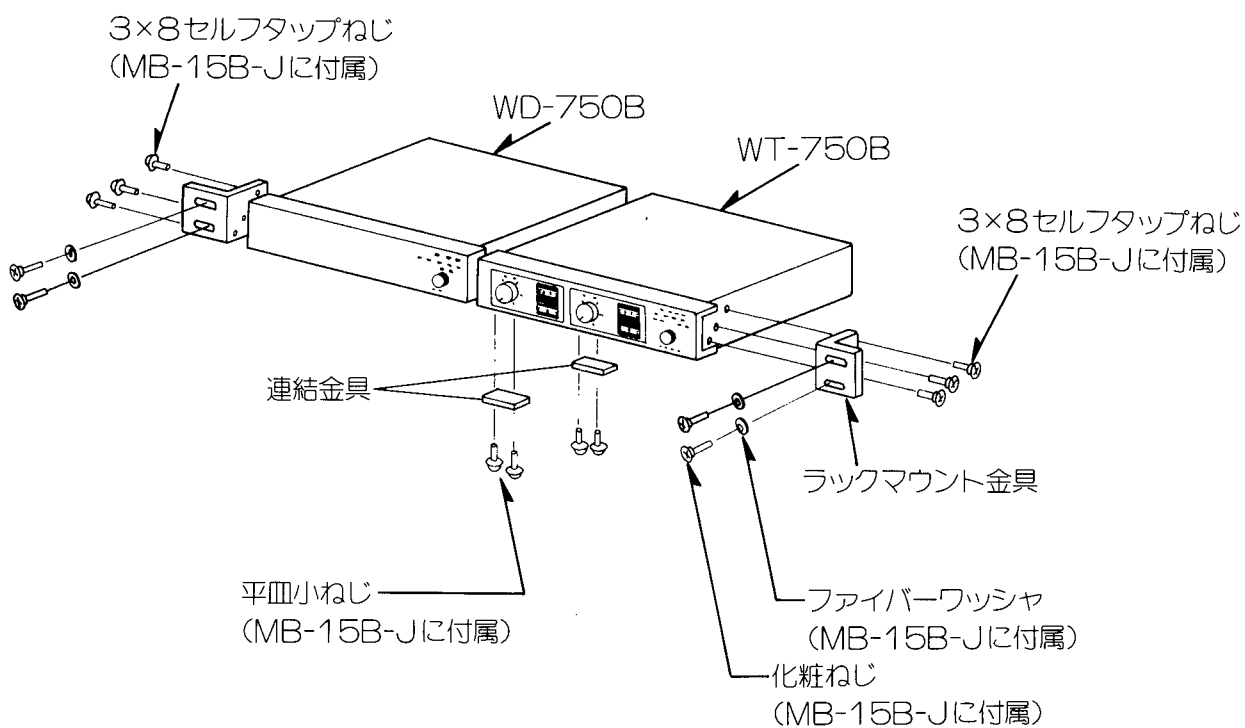
(注)
距離は目安です。
壁、天井、床の材質構造によって異なります。

■ラックに取付けるとき

- ラックに取付けてご使用になる場合は、別売の金具を使用してください。本体のゴム足ははずしておきます。
- WT-750Bを1台取付ける場合は、別売り金具(MB-15B-BK)を使用してください。

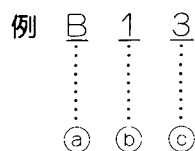


- WT-750BをWD-750B（混合分配器）と組合わせて2台取付ける場合は、別売り金具(MB-15B-J)を使用してください。



■800MHz帯ワイヤレスマイクロホンのチャンネル、周波数について——

1) チャンネル呼称の説明



- ①……………800MHz帯を表す。
- ②……………グループ番号を表す。
- ③……………グループ内のチャンネル番号を表す。

- 2) 同一場所での同時使用は、グループ番号が同じワイヤレスマイクロホンに限って最大6チャンネルまで可能です。グループ番号が異なるワイヤレスマイクロホンを同一場所で同時に使用すると、混信妨害が発生しますのでご使用になれません。

■アフターサービスについて——

●保証書

保証書は販売店からお渡ししますから、必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間は、お求めの日から1年間です。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お求めの販売店にご連絡ください。お客様が修理することはできません。もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象からはずれますので、ご注意ください。

連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

●保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お求めの販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お求めの販売店にお問合せください。

■仕様

電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	8W (WTU-1710 2台使用時)
受信周波数	806.125MHz~809.750MHz (B型30波)
アンテナ入力	75Ω BNCジャック (アンテナ供給電源 DC8V 35mA最大)
最大出力	12dBV
単独出力	0dBV 600Ω 不平衡
ミキシング出力	0dBV (ライン側) 600Ω 不平衡 -65dBV (マイク側) 600Ω 不平衡
ミキシング入力	0dBV 600Ω 不平衡
受信感度	10dB μ V以下 (S/N25dB、4.8kHz偏移)
スケルチ感度	12dB μ V
S / N 比	60dB以上 (60dB μ V入力、4.8kHz偏移)
残留雑音	20 μ V以下 (JIS Aカーブ使用、VR最小)
歪率	3%以下
周波数特性	50~12,000Hz +0, -4dB
使用温度範囲	-10℃~+50℃
質量	約2.1kg
寸法	210(幅)×47.5(高)×253(奥行)mm
仕上	パネル面：黒 (マンセル N1.0) 3分艶 チューナユニット装着部：樹脂 (黒) ケース：黒 カラー鋼板

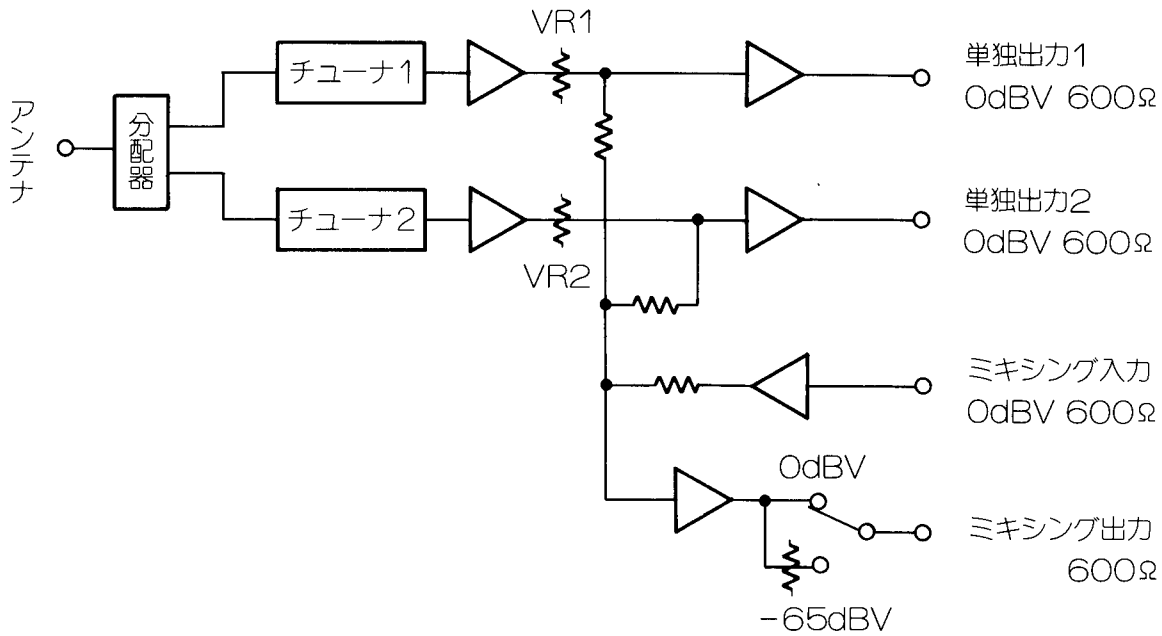
※本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

(注)本機のアンテナ入力インピーダンスは75Ωですが、適合チューナユニットのアンテナ入力インピーダンスは50Ωです。

●付属品

- ホーンプラグ付コード(1m)……………1本
- 機器保証書……………1
- 取扱説明書……………1

■ブロックダイアグラム



TOA インフォメーションセンター

商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く)

フリーダイヤル (無料電話)

TEL. 0120 - 108 - 117

〒665-0043 宝塚市高松町2番1号

TEL. (0797) 72-7567

FAX. (0797) 72-1090

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

札幌営業所 TEL (011) 780-1001 代
青森営業所 TEL (0177) 23-3751 代
秋田営業所 TEL (018) 824-7231 代
盛岡営業所 TEL (019) 654-5211 代
仙台営業所 TEL (022) 256-8100 代
郡山営業所 TEL (024) 923-7744 代
水戸営業所 TEL (029) 231-9811 代
宇都宮営業所 TEL (028) 633-9661 代
高崎営業所 TEL (027) 326-3955 代
多摩営業所 TEL (042) 584-1711 代
長野営業所 TEL (026) 234-2231 代
新潟営業所 TEL (025) 246-2316 代
千葉営業所 TEL (043) 234-6511 代
大宮営業所 TEL (048) 685-5131 代
横浜営業所 TEL (045) 682-4848 代
東京営業所 TEL (03) 3814-6211 代

静岡営業所 TEL (054) 237-8850 代
金沢営業所 TEL (076) 233-1951 代
岐阜営業所 TEL (058) 276-1401 代
名古屋営業所 TEL (052) 971-8211 代
津営業所 TEL (059) 224-6645 代
大阪営業所 TEL (06) 6260-1525 代
京都営業所 TEL (075) 801-7328 代
神戸営業所 TEL (078) 303-5625 代
岡山営業所 TEL (086) 241-8029 代
広島営業所 TEL (082) 291-3988 代
高松営業所 TEL (0878) 66-5995 代
松山営業所 TEL (089) 931-1586 代
北九州営業所 TEL (093) 581-4722 代
福岡営業所 TEL (092) 431-0061 代
熊本営業所 TEL (096) 384-1612 代
鹿児島営業所 TEL (099) 256-5245 代

那覇営業所 TEL (098) 866-5598 代
開発営業部 TEL (03) 3814-8011 代
法人営業推進部 TEL (03) 3818-4721 代
／大阪 TEL (078) 303-5612 代
プロサウンド営業部 TEL (03) 3815-8731 代
サウンドポケット TEL (03) 3818-1651 代